

LINE登録特典

電子書籍

テーマ発見シート

あなたの経験・体験・知識・雑学・生活の知恵が、
電子書籍のテーマになる

人生経験・体験

仕事・キャリア

趣味・好きなこと

生活の知恵・家事の工夫

学び・知識

雑学・豆知識

ノウハウ・専門知識

暮らしの工夫・節約術

旅行・おでかけ体験

想い・感動したこと

失敗・乗り越えたこと

日常の悩み・解決法

あなたの中にある
価値が、
誰かの役に立つ
一冊になる。

さあ、
あなただけのテーマを
見つけましょう。

無料小冊子

著者：まちパパ

はじめに

「自分には、本にできることなんて無い」——多くの人がそう思っています。でも、それは大きな勘違いです。

あなたが当たり前に行ってきた仕事、乗り越えた苦労、誰かに教えたこと。その一つひとつが、いままさに情報を求めている誰かにとっての“財産”です。この小冊子は、あなたの中に眠るテーマを見つけ、「電子書籍」という形にする最初の一步をお手伝いします。

この小冊子の使い方

1. まず「12の切り口」で、自分の財産をざっと眺める（P.4）
2. ワークシートに、思いつくままに書き出す（P.5～6）
3. 3つの視点で、テーマを1つに絞る（P.7）

所要時間は約20分。完璧を目指さず、思いつくまま書くのがコツです。

電子書籍テーマの見つけ方

1

STEP 1 棚卸し（たなおろし）

経験・知識・失敗・好きなこと——頭の中にあるものを、とにかく全部書き出します。この段階では“質”より“量”。ワーク（P.5）を使いましょう。

2

STEP 2 かけ算

「あなたの経験 × それで悩んでいる人」を考えます。例：長年の腰痛 × 同じ痛みで悩む人
セルフケア本。

3

STEP 3 ひとつに絞る

「一番くわしい」「一番語れる」テーマを1つ選びます。絞り方はP.7の“3つの視点”で。

ポイント

完璧なテーマより「あなたが熱く語れるテーマ」。読者は“専門家”より、少し先を歩く“先輩”を求めています。

あなたの財産の棚卸し

01 人生経験・体験

一番大きく変わった出来事は？

02 仕事・キャリア

仕事で身につけた「コツ」は？

03 趣味・好きなこと

時間を忘れて没頭できることは？

04 生活の知恵・家事

「便利だね」と言われた工夫は？

05 学び・知識

学び直して役立ったことは？

06 雑学・豆知識

つい人に話したくなる知識は？

07 ノウハウ・専門知識

業界の「当たり前」は何？

08 暮らしの工夫・節約

節約・時短できた方法は？

09 旅行・おでかけ体験

行ってよかった所・失敗談は？

10 想い・感動したこと

心が動いた瞬間は？

11 失敗・乗り越えたこと

どん底からどう立ち直った？

12 日常の悩み・解決法

あなたが解決してきた悩みは？

ワーク 財産の棚卸しシート

A. 過去の仕事経験 どんな仕事を、どれくらい続けてきましたか？

B. 人に教えられること 後輩や家族に、教えたことは？

C. 苦労して乗り越えたこと つらかった経験と、乗り越えた方法は？

D. 他人より詳しいこと つい調べてしまう・詳しいと言われることは？

ワーク 出版テーマ候補 10個

ワーク で書いた「財産」を、次の形にしてみましょう。

“ で悩む人のための ”

例：腰痛で悩む人のためのセルフケア / 相続で困らないための入門

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____
5. _____
6. _____
7. _____
8. _____
9. _____
10. _____

テーマを1つに絞る

視点1 需要

それで悩んでいる人は、いますか？（読者がいるか）

視点2 情熱

あなたが、熱く語れますか？（続けられるか）

視点3 独自性

あなたならではの経験がありますか？（選ばれる理由）

3つすべてに が付くテーマが、あなたの“一冊目”です。

わたしの一冊目のテーマ

テーマが決まったら、あとは“形にする”だけ

次の一歩

おめでとうございます。テーマが見えてきたら、もう半分は完成です。
あとは、それを「読まれる形」にするだけ。

AI Japan Tech では、あなたの財産を——

- 電子書籍（Kindle・PDF小冊子）
- 漫画・動画
- LINE導線・LP
- SNS発信

——「売れるコンテンツ」に変えるお手伝いをしています。

無料相談は、公式LINEから

LINEに「相談」と送ってください。

「自分のテーマ、これで合ってる？」——そんな確認だけでもOK。無理な営業はしません。

公式LINE : lin.ee/ZXqgLod / ai-japan.tech/standfm

あなたの人生は、もう本になっている。 まちパパ